

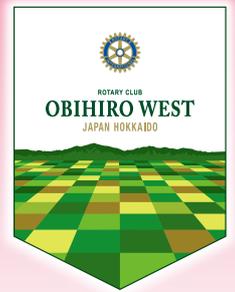


帯広西ロータリークラブ

第2245回例会

2018.10.11

会報



■RI第2500地区テーマ■

行動するロータリー、つながるロータリー
～ロータリーの未来を考えよう～



■クラブ・テーマ■

常識を疑い、可能性に挑戦する

会長挨拶

佐藤 聡 会長

皆様こんにちは。

まずはRI2500地区大会に大勢の会員が参加され成功裏に終了できましたことに心よりお礼申し上げます。RI会長代理のメッセージの中に「世界的にロータリアンの会員数が減少してきている。小手先の手法で会員の数を増やすことより、地域に誇れるような活動をし広報活動によって周知し入会したくなるような団体に成長しなければならない」と述べられていました。

帯広西RCは、他のクラブや団体には真似のできない事業に取り組み、更に楽しい中にも意義ある活動を展開しSNSや各種ネットワークを駆使して広報活動を推進していきたいと思えます。各委員会におかれましては、趣旨を十分に理解し企画運営に当たって頂きたくお願い申し上げます。

もう一点、この度京都大学の本庶教授がノーベル医学生理学賞を受賞されることになりました。そんな中、先生の授業風景をTVで見っていた時に次のような言葉がありました。学生たちに「教科書に書いてあることは正しいと思うか?教科書に書いてあることが正しいと思うなら学問は進歩しない。まずは常識を疑う事から全ては始まる」本年度の会長方針と同じだったことに驚きました。

何故、京大から次々に受賞者が排出されるのかと云う事について問われた永田京大名誉教授は「京大には長い歴史の中に創立以来『自由』という学風があり『面白いことをやろう』というのが許されている」と述べておりました。我が帯広西RCも京大のような「自由で面白いことを追及する」団体であり続け、そこを極めていきたいと思っ



た10月の始まりでした。

という事で今週は「歴史を作る」という言葉を紹介させていただきます。

『失敗のない人生なんて

面白くもないし

記憶にも残らない

苦難を乗り越え

夢を叶えることが出来た時

歴史が作られる』

以上簡単ですが、会長報告とさせていただきます。

会務報告

小谷典之 幹事

- ①帯広北RC、夜間例会開催のご案内
日 時 10月12日(金)午後6時30分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
- ②帯広南RC、移動例会開催のご案内
日 時 10月15日(月)午前11時
場 所 JA帯広かわにし別府事業所
- ③帯広北RC、移動例会開催のご案内
日 時 10月19日(金)午後0時
場 所 北の杜
- ④帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日 時 10月25日(木)午後6時30分
場 所 北海道ホテル
- ⑤帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内
日 時 10月30日(火)午後6時30分
場 所 幕別パークホテル悠湯館
- ⑥帯広RC、10月31日(水)の例会は、休会と致します。



会 長 佐藤 聡 副会長 内海 仁司 会場監督理事 田中 耕吾 発行：広報委員会
幹 事 小谷 典之 副会長 渡部 省一 プログラム委員理事 谷脇 正人 委員長 菊池 俊博 (副)松田 貴史



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

米山記念奨学生

カリヤワサム マジュワナ ガマゲ,
レヌカ メニケ カリヤワサム 様



米山記念奨学会から感謝状

谷脇正人 会員



ニコニコ献金

飯田正行 会員

佐藤 聡 会長

地区大会に多数の御参加誠にありがとうございました。



天野 清一 米山記念奨学委員長

本日担当例会でプログラムをさせていただきます。宜しくおねがいします。

谷脇 正人 カウンセラー

まだまだお世話になりますが一応終了です。ありがとうございます。

飯田 正行 会員

本日ニコニコ発表します。よろしくお願いいたします。

ニコニコ
献金

10月11日

8,000 円

累 計

223,000 円 (10月11日現在)

□プログラム

米山記念奨学委員会



「ひろがれ 人づくりの輪、世界へ届け 財団50周年記念」

天野 清一 委員長

こんにちは。本日は米山記念奨学委員会第2回目の担当例会です。

8月にスリランカ出身のダクシカ・ノーニスさんに米山学友として卓話をして頂き卓話に大変感動をしました。当クラブで約30年前に奨学金を出されて勉強して日本を好きになり帯広を好きになって大谷短大を卒業後市役所で仕事をされて日本に約7年間おられたことにはとてもビックリしました。とてもいい卓話だったと思います。

そこで10月は米山月間ですので詳しい会員の皆様もおられると思いますが再度米山奨学委員会の事をビデオを見て頂きご理解頂きたいと思います。講師を招いて講話を頂く当初の予定でしたがビデオを見て頂いた方がわかりやすいと思い予算を使わないで進めます。

昨年7月1日、財団設立50周年を迎える事が出来まして、今年から新たなスタートをして日本と世界を結ぶ架け橋となり、平和とロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する、それが米山記念奨学事業の使命です。今年度の奨学生採用数は852名と国内では数多くある民間奨学団体では最大規模の国際奨学事業です。米山奨学会の事を勉強すればとても数多くの事がありますがビデオを見た会員もおられるとは思いますが見ていない会員の為に再度見てください。それと今年度も多くのご寄付宜しくお願いします。

